

令和6年度大分県こどもの生活実態調査等

1 調査の目的

こどもに関わる2つの調査を同時実施

- ①「おおいたこども・子育て応援プラン」の改定に向けた、こどもと保護者の生活実態及び意識調査(令和元年度から5年ぶり)
- ②今後の支援策検討に向けたヤングケアラー実態調査(令和3年度から3年ぶり)

2 調査の概要

- (1)調査対象 小学5年生から高校3年生までの全児童生徒
小学5年生と中学2年生の保護者

調査内容	児童生徒(小5～高3 約7万8千人)		保護者(約2万人)
	小5、中2	左記以外	小5、中2の保護者
①こどもの生活実態調査	○(最大26問)	×	○(最大26問)
②ヤングケアラー実態調査	○(最大40問)	○(最大40問)	×

- (2)調査期間 6月下旬～夏休み前
- (3)調査方法 無記名のWeb調査(児童生徒は一人一台タブレット、保護者はスマホ等を活用)
- (4)実施場所 学校(ホームルームなどの時間を想定、自宅での回答も可能)
保護者は自宅など
- (5)設問数等 児童生徒:最大66問(大部分が選択式) 所要 10～20分程度
保護者 :最大26問
- (6)設問内容 こどもの生活・学習習慣、自己肯定感、家族の世話と困りごとの状況、世帯の収入・就労 など

3 調査のポイント

- (1)福祉・教育部門の共管により、コロナ禍後のこどもの生活実態等を調査し、施策に反映
- (2)2つの調査を同時に行い、重複設問の削減や選択式の設問により回答者の負担軽減に配慮

4 スケジュール

6月21日 各学校へ調査内容、二次元コード発送
夏休み前 児童生徒、保護者による回答期限
集計、分析、結果概要公表

担当課:こども・家庭支援課
学校安全・安心支援課
担当者:中村・吉浦(097-506-2779)